

2016 年度 修士論文要旨

ペン型インタフェースにおける筆記感提示

関西学院大学大学院理工学研究科

人間システム工学専攻 井村研究室 大菅 誠弥

近年、スマートフォンやタブレット端末の普及により、スタイラスペンを使用した筆記機会が増加している。我々が慣れ親しんできた紙への筆記では、紙とペン先の材質は様々であり、筆記時には多様な筆記感が生じる。しかし、タッチディスプレイ上での筆記では、ディスプレイ面のガラスとペン先素材との接触による単一の筆記感しか得ることができない。また、紙上での筆記とは異なり、摩擦が小さく、筆記している感覚に乏しいため違和感を覚えるユーザが多い。本研究では、紙と筆記具を使用した際の筆記感に着目し、紙上で用いられる多様な筆記具の筆記感を再現できるペン型インタフェースを提案した。紙上での筆記時に指先に伝わる振動を再現し、筆記面における特性を変化させることで、タッチディスプレイ上で多様な筆記感を再現した。